



フルハシEPO(株) 2008年 GC 4分野「10原則」への取り組み

フルハシEPO株式会社
2009年2月



4分野「10原則」への取り組み

2008年4月1日社名をフルハシ工業より「フルハシEPO株式会社」へ変更いたしました。新しいフルハシを表現するために、EPOは、地球の生態系、環境を表す「Eco・Environment」と 港を表す「Port」から名づけました。『環境』を軸に、GC10原則の実現に向けて努めます。

1. 4つの分野『人権・労働・環境・腐敗防止』を目指した「**CSR**(企業の社会的責任)活動」
2. 環境経営としての『環境』への取り組み
3. 今後の課題と活動について



1. CSR活動

GCの4つの分野「人権・労働・環境・腐敗防止」を目指したCSR活動のため、当社は経営トップのもと、3つ基本方針『社会とともに・環境とともに・社員とともに』を掲げています。

法令・倫理規範を遵守し、安全性と品質を追求するとともに経営の効率化、透明性を常に意識し、お客様・お取引先・社員・地域社会・株主を含む全てのステークホルダー（利害関係者）に対してメリットある経営を行うことで社会的責任を果たします。



1－①. CSR活動『環境とともに』

地球環境の保全と再生に取り組むべき重要な経営課題と捉え、事業における環境負荷低減活動に主体的に取り組み、資源の有効活用により持続可能な社会づくりにベストを尽くします。

- ・社内環境保全活動(環境理念・方針、委員会等)
- ・エコステージ更新
- ・あいちCO2削減マニフェスト登録
- ・「企業の森づくり」活動における協定締結(2008年9月)
- ・県民グリーン運動への参加(4工場で緑化推進活動を実施)
- ・NPO法人全国木質資源リサイクル協会連合会副理事



1－②. CSR活動『社会とともに』

お客様、お取引様、地域の方々など社会の様々な方とコミュニケーションをとり、お客様の立場に立って、誠実に製品やサービスをお届けします。お取引先へ対し、相互計発展・成長のため、公正・透明な取引を行います。また地域社会の一員として積極的に社会貢献活動を展開しています。

- ・地域清掃活動への参加
- ・「企業の森づくり」活動における県との協定締結(2008年9月)
- ・県民グリーン運動への参加(主要拠点である4工場で緑化推進)
- ・NPO法人全国木質資源リサイクル協会連合会副理事
- ・社員のボランティア活動参加への推進



1－③. CSR活動『社員とともに』

社員一人ひとりの多様性を尊重し、働き甲斐をもって自己実現に向かう人材育成を目指します。ワークライフバランスに配慮し、働きやすい職場環境づくりを進めています。

- ・育児休業、介護休業制度
- ・カジュアル・フライデー制度の導入
- ・福利厚生制度の充実
- ・オアシス運動の促進(より良い職場環境づくり)



2. 環境経営としての 『環境』への取り組み

- ①環境理念と環境方針
- ②全社で取り組む環境経営
- ③事業活動で取り組む環境経営



2-①. 環境理念

- フルハシEPOは業務に密着した環境理念を経営トップのもと、定めています。

『私たちは、地球環境と未来の子どもたちのために
資源の有効利用を目的として可能な限り
リサイクルをし、それらを利用した新素材開発により
環境保全にベストを尽くします。
そして、質の高い生活の場と持続可能な社会づくりに
貢献いたします。』



2－①. 環境方針

- フルハシEPOは廃棄物トータルリサイクル事業の推進にあたり、定期的に環境影響を評価し、環境目的・目標を設定して継続的改善を図るとともに、環境への汚染・予防に取り組むため11項目の基本方針を定めています。
- 社員が環境方針を理解し、活動することが必要であり、社員への周知徹底に努め、外部から求められた場合は公開できるようにしています。



2-②. 全社で取り組む環境経営

1. 環境品質管理委員会
2. エコステージ取得
3. あいち地球温暖化防止戦略
CO2排出削減マニフェスト登録
4. 企業の森づくり活動
(間伐体験・植林体験の実施)
5. 一人ひとりの環境意識を向上

2-②-1. 環境品質管理委員会

- 全社の環境保全活動を推進
- 環境情報発信、地域清掃活動参加の推進



委員会・全社
発表会の様子



地域清掃活動へ
の参加



2-②-2. エコステージ

「エコステージ」とは・・・愛知県名古屋地区で生まれた環境経営を評価・支援するシステムであり、ISO14001の意図を踏まえつつ環境改善と経営を結びつけ、段階的な発展を評価・推進します。

フルハシEPOは全社でエコステージの導入を推進しています。

フルハシEPOのエコステージ1取得拠点

- ・愛知第一工場(春日井)
- ・飛島工場(現飛島リサイクルランド)
- ・愛知第二工場(弥富)
- ・本社
- ・事業本部



2-②-2. エコステージ



2-②-3. あいち地球温暖化防止戦略 CO₂排出削減マニフェスト登録

- フルハシEPOがCO₂排出削減のために2010年までの期間で取組む内容を宣言
- 環境品質管理委員会を中心に活動中



神田知事より登録証授与(06年3月17日)



間伐材を利用した登録証



2-②-3. CO2排出削減マニフェスト内容

- 全社のCO2排出量を、2010年度までに1,000トン削減
- クールビズ、ウォームビズの徹底
- 社員の地域・家庭におけるエコポイント活動への参加推進
- 社内提案制度による環境改善の推進(2010年度までに100改善提案)
- 工場・事業所での設備交換時の省エネ設備・機器の導入及び水平展開
- ハイブリッド自動車・低公害車への入れ替え(現在保有車両の100%達成)
- 取引業者に対するグリーン配送の要請(全納入業者の50%)
- バイオ燃料の開発・生産の促進
- エコ通勤手当による社員のマイカー通勤自粛
- ETC車載器を、2010年度までに全車両に導入(現在導入割合98%)
- 社員へのエコドライブの徹底(社内広報による呼びかけ)
- 建設廃棄物のリサイクルの推進
- 木質バイオマス燃料の製造・販売促進(木質バイオマス燃料50万トン販売)
- 社員の森林系ボランティアへの参加推奨(2010年度までに植樹1,000本)
- 県民グリーン運動の推進(主要拠点である4工場で緑化推進)
- 教育機関への出張講座の協力・企画(2010年度までに250回)
- 新エネルギーに関する研究開発に参加(2010年度までに2テーマ)
- 製造工程における省エネ化提案事業の推進(2010年度までに50提案)



2-②-4. 企業の森づくり活動

2008年9月11日、フルハシEPOは、CSR活動の一つとして、愛知県とその県有林の一部を「企業の森づくり」活動のフィールドとして活用させていただく協定を締結しました。

フルハシEPOでは、60余年の社業で培ったバイオマス利用事業に、「生物多様性」の観点を加え、社員による森林の整備だけでなく、活動に携わる人々の情報交換や人的交流を通して、県と県民・企業が協働しあい、未来に残る森づくりに取り組んで参ります。

- 実施期間： 2008年9月11日より3ヵ年
- 場所： 愛知県豊田市羽布町 羽布県有林のうち約5ha
- 活動内容
 - ・森林環境調査(植生調査・照度調査など)
 - ・社員およびその家族のボランティアによる間伐・植林体験
 - ・下草刈・除伐・間伐などの森林整備
 - ・「企業の森」をフィールドとした環境学習

2-②-4. 企業の森づくり活動 間伐体験の実施

2008年8月、11月実施



2-②-4. 植林体験の実施

2008年3月実施



2-②-5. 一人ひとりの環境意識を向上

■ 社用車を低公害車へ

- ・ハイブリット車、低公害車の導入
- ・日よけを導入してエアコン使用抑制
- ・車内の整理整頓を行い余計な荷物を積まない
- ・エコドライブ推進(社内広報にて推進)



■ オフィスでは

- ・クール・ビズ、ウォーム・ビズの実施
「6月～9月はクールビズ」「12月から3月はウォームビズ」
- ・電気使用量、紙使用量の把握によるCO2削減意識の向上
- ・ガソリン使用量の把握による燃費向上・エコドライブの推進
- ・ゴミの計量によるリサイクル意識の向上





2ー③事業活動で取り組む環境経営

1. 地球環境事業部
2. バイオマテリアル事業部
3. 環境物流事業部
4. 新分野への挑戦・発展





2ー③事業活動で取り組む環境経営

1. 地球環境事業部

- 建物の解体現場から出る廃棄物の分別・回収
- 建物の建築現場から出る廃棄物の分別・回収

「ガラス、金属、木、瓦、プラスチック、コンクリート等、建設の際に生まれるさまざまな資材を、再資源化しリサイクルする。」



2ー③事業活動で取り組む環境経営

2. バイオマテリアル事業部

■ 木質リサイクル

- ・木質バイオマス燃料(石油代替燃料)の製造・販売促進
- ・2008年、合併によるバイオマス発電事業へ進出
- ・2011年、木質燃料チップ供給会社稼動予定
- ・紙・パルプ・マルチングなどの原料製造・販売促進

■ 間伐材の利用

- ・資源の有効活用と森林整備の促進



2－③事業活動で取り組む環境経営

3. 環境物流事業部

- 物流機器の3R(リユース・リフォーム・リサイクル)
 - ・木製パレットの使用を促進
 - ・補修による長期使用
 - ・使用済みのパレットを回収

- 国産材(間伐材)利用促進
 - ・間伐材を利用したパレット「グリーンパレット」の製造・販売(2009年2月)



2-③事業活動で取り組む環境経営

4. 新分野への挑戦・発展

■ 林業

- ・間伐作業による森林整備
- ・地産地消による資源の有効活用
- ・森林再生によるCO2削減の促進

■ 農業

- ・安心・安全な作物の提供
- ・地産地消、持続可能な農業への貢献
2008年秋、試験農場にて収穫



3. 今後の課題と活動

1. 4分野10原則の実現を目指した「CSR(企業の社会的責任)活動」の促進
2. 林業、農業の更なる推進によるCO2削減へ貢献
3. 清掃活動、間伐体験等の社会活動への参加による社会貢献の推進
4. 環境品質管理委員会を中心に、あいちCO2排出削減マニフェストの目標達成にむけての活動強化
5. 「企業の森づくり」計画に基づいた活動の実施